

会 議 録

会議の名称	第4回 飯塚市文化施設活用検討委員会
開催日時	令和4年8月30日(火) 15:00~17:15
開催場所	イイヅカコミュニティセンター 2階 展示ホール
出席委員	竹川委員長、河副委員長、徳永委員、瓜生委員、田中委員、 長曾我部委員、榎本委員、大石委員、寺田委員、早川委員、 田上委員、奥田委員
欠席委員	志村委員、福丸委員、眞鍋委員
事務局	【文化課】 坂口課長、久原文化施設整備担当参与、吉田文化施設整備推進係長 【商工観光課】 小川課長、柴田課長補佐、田中観光係長
会議概要	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 3-1 前回のグループ討議結果の報告 3-2 これからの嘉穂劇場が担う性格の整理とターゲットについて 3-3 イイヅカコスモスコモンとの連携について 3-4 嘉穂劇場の新たな活用を図るために求められる具体的な機能等について 3-5 新たな嘉穂劇場が目指す姿について 4 その他 5 閉会
会議資料	資料1 第3回飯塚市文化施設活用検討委員会 グループ討議での主な意見 資料2 嘉穂劇場の新たな活用を図るための論点の整理 資料3 イイヅカコスモスコモンの利用状況(平成29年度~令和元年度) 資料4 嘉穂劇場とイイヅカコスモスコモンとの連携について

会 議 録

	資料5 嘉穂劇場周辺地図・航空写真・敷地内写真 資料6 新たな嘉穂劇場を目指す姿について
公開・非公開 の別	① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者0人)
その他（非公 開理由等）	
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>3-1 前回のグループ討議結果の報告</p> <p>●事務局より資料1について説明</p> <p>3-2 これからの嘉穂劇場が担う性格の整理とターゲットについて</p> <p>●事務局より資料2に沿って説明</p> <p>前回のグループ討議での各委員の発言を踏まえ、嘉穂劇場の利用者を市民、子ども、演者、外国人であると想定した。また、嘉穂劇場の基本的な性格を(1)劇場であること(2)国内外の観光資源となり得るものであること(3)公共施設であること(4)文化財であることの4分類とした。これらの性格をすべて持っている施設は、当市においては嘉穂劇場のみである。</p> <p>【質問・意見等】</p> <p>① 嘉穂劇場の公共施設としての性格について</p> <p>委 員：税金を投入して運営していく以上、市民が使いやすい施設であるべきで、そこから例えばバリアフリーのような、市民に愛されるような工夫をすところ、今までの嘉穂劇場と違う部分になるのではないか。また、公演を行う演者や外国人の観光客に求められる部分の付加価値をつけて、トータルで交流人口等を増やしていく工夫が必要ではないか。</p>

会 議 録

② 嘉穂劇場の文化財としての性格について

委員：これまでどおりの形を残すということ、また、これまでの用途を継承することについてははっきりと書いてほしい。劇場としての形と用途がセットとして残っているということが、嘉穂劇場の魅力であると思う。

③ 経営面について

委員：施設としては貸館をすればするほど収入が減少する。その理由としては、市民の利用に対し減免を行うと通常の貸館料が徴収できないことと、その間の見学が制限されることが挙げられる。特に貸館と見学が多い土日が顕著である。そこについては、おそらく次のステップになるが、きちんとした管理運営計画を作る必要があると思う。

④ 全般について

委員：現代の公共の文化施設に求められる役割の中に、次世代の育成と新しい文化の創造があると思うが、次世代の育成は嘉穂劇場やコスモスコモンのような施設がある中で、どの施設でやらないといけないのかということには注意が必要である。また、新しい文化の創造については、新しい演目を行うだけではなくて、古い歴史的な建物を利用して、何かを行うことによって文化的な価値を生み出すのことも創造と呼べるものであることを念頭に置いておく必要があるのではないか。

副委員長：文化財でありながら商業的施設となっていることが難しい部分だと感じる。今後は嘉穂劇場を運営するにあたり混乱を避けるため、優先順位などの基準をしっかりと議論しておく必要があると思う。基本的には文化財として残すところは残さないといけないと思う。長い目で見ると、嘉穂劇場の建物自体が財産となるので保存はしっかりやるとしても、商業的な使用は避けられないので、その折り合いについては時間をかけて考えていく必要があるのではないか。

会 議 録

3-3 イイツカコスモスコモンとの連携について

●事務局より資料3、4について説明

【質問・意見等】

⑤ 嘉徳劇場とコスモスコモンのすみ分けについて

委員：個人的にはイイツカコスモスコモンでできることは嘉徳劇場でやらなくてもよいのではないかと思う。問題は嘉徳劇場は公共施設なので、興行が行われている以外の時間をどのように開館するのか、しっかりと活用方法を考える必要がある。料金を安価に設定して市民には利用しやすいという公共性を重視するのか、観光で開館する日数の設定などの収益性を重視するのか、バランスが非常に難しいと思う。

副委員長：すみ分けについては利用する人に任せるとしても、かつてのように伝統芸能は嘉徳劇場、クラシック音楽はコスモスコモンでというのは面白くない。嘉徳劇場の文化財的な良さが引き出せる演目を加えた方がよいのではないか。それを積み重ねれば、普通とは違う面白さを引き出せることをポイントとするようなすみ分けもできるのではないか。

委員：飯塚市の場合人口が多いので、嘉徳劇場とイイツカコスモスコモンの共存は十分可能だと思う。近隣の大都市である福岡市や北九州市から近いということもメリットで、福岡市と北九州市との共存という可能性も考えられる。交通アクセスの良さを考えると、普段は見学だけでもやっていけると思う。

⑥ イイツカコスモスコモンの稼働率について

委員：イイツカコスモスコモンの稼働率は、他の類似施設と比較すると、普通というか上出来の部類に入る。ただし、公演の日数が最盛期で年間40日程度と聞いているので、それをどう考えるのかということはある。また、公共の文化施設を運営する場合には貸館と自主事業がある。貸館は収入となるが、自主事業は収入が上がらない。当然貸館で収益を得ないといけないので、以前の嘉徳劇場の貸館料は高かったと聞いている。貸館と自主事業では経営面でも

会 議 録

別のものなので、どこかの段階で整理していく必要がある。

3-4 嘉徳劇場の新たな活用を図るために求められる具体的な機能等について

【質問・意見等】

⑦ 枱席について

委員：枱席については、大きな工事などを行わなくても、着脱式の器具で対応するなど、現状を保存したまま上手く工夫できるのではないかと感じる。または、枱席上にふたをしてフラットな空間を作るというような工夫もできるのではとを感じる。

委員：バリアフリーと耐震化というのは、今日の文化財が抱える問題である。文化財建造物は構造や用途、大きさなどがそれぞれ違うので、この建物はこうだという正解はない。市で嘉徳劇場の保存活用計画を策定中だが、その中で嘉徳劇場の有形文化財としての価値を構成する要素を抽出し、どこに価値があるのかをきちんと整理してもらいたい。その整理の後、どのようにバリアフリーができるのかを検証してから進めていくことが必要ではないか。

委員：文化財ということでバリアフリー対応をせず、人で対応する人海戦術でもいいが、それを実際誰がやるのか。運営者やボランティアがやるのは大変で、それをやれるだけの仕掛けづくりが必要である。また、そのようなバリアフリーを必要とする方々などとしっかりコミュニケーションをとって進めることが大切だと思う。

委員：枱席自体はあのままの形でよい。実際枱席を取り外したりした場合に、どのように広さを活用するのかが分からない。枱席として残したまま、必要な方に必要な配慮をすることでよいのではないか。

副委員長：前回のグループ討議では、枱席を取り外し可能にした方が活用方法が広がるとの意見があった。もし、文化財として問題があるのであれば、事務局に検討をお願いする。ただし、いろいろ魅力があるものを呼び込もうと思ったら、活用方法の選択肢は広げた方がよいのではないか。

会 議 録

⑧ 搬入口・駐車場などの附属施設について

委員：飯塚は立地が良く、福岡市や北九州市から興行が来る可能性がある反面、大都市の大型劇場で興行をやる場合には12トントラックなどで来る場合がある。その場合、嘉穂劇場には直接入れないので、別のやり方で搬入する必要があるが、それだけで公演にかかる経費が高くなる。大きなトラックが搬入口に直接アクセスできることは、現代の劇場の絶対要件となっている。また、駐車場が絶対的に不足している。興行の際に駐車場が不足すると、コスモスコモンの駐車場を使わせるとかの整理が必要である。ただしイヅカコスモスコモンのイベントとぶつかると、やはり駐車場が少なくて混乱する。もし嘉穂劇場を整備するのであれば、駐車場については必要台数をどこに確保するかが問題となる。また、普段は車が停まっておらず、稼働率が悪いことを市民が納得するかという問題もある。

委員：嘉穂劇場の今あるスペースだけだとあまり広く感じられないので、現在の駐車場はできる限り広場やオープンスペースにして、イベント広場や交流の場として、また、劇場内外で連動したイベントができるようなスペースとして活用する方向もあるのではないかと。

委員：オープンスペースとして活用することに同意する。現在も駐車場には屋根があって、嘉穂劇場の全体写真が撮れない。ここは駐車場として使用されてきて、その収益は気になるところだが、フラットになってイベントでも活用出来たらと思う。

3-5 新たな嘉穂劇場が目指す姿について

●事務局より資料6について説明

【質問・意見等】

⑨ キャッチフレーズについて

委員：「娯楽の殿堂」や「舞台芸術の聖地」というフレーズは、すでに使用している他市町村の劇場がある。ほかで使用しているものはできるだけ避けた方がよいので、できるだけ丁寧に確認作業を行わないとこわい部分がある。

会 議 録

	4 その他
	5 閉会